

歴史的音源とは？

「歴史的音源」とは、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HIRAC)がデジタル化した、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。現在までに約3万9000音源がデジタル化済みで、最終的に約5万音源がデジタル化される予定です。

含まれる音源

落語、長唄、楽曲(ギター、琴、尺八等)、歌劇、浄瑠璃(義太夫節、清元節、常磐津節)、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、様々なものが含まれています。提供元レベルは、日本放送協会(NHK)、ビクターエンタテインメント、EMIミュージック・ジャパン、日本コロムビア、キングレコード、テイチクエンタテインメント(順不同)の6レベルです。

利用するには

岐阜県図書館 1階 データベースコーナー端末でご利用いただけます。
第2カウンターにて、貸出証(図書館カード)をご提示ください。
なお、複製やダウンロードはできません。

例

- 『謡曲 羽衣』(ニッポンノホン、1910頃) 謡: 宝生九郎
- 『落語 うどんや』(コロムビア、1922) 落語: 柳家小さん(3代目)
- 『富岡先生(新国劇)』(ビクター、1928) 原作: 国木田独步、脚色: 真山青果、出演: 沢田正二郎ほか
- 『演説 普通選挙について』(コロムビア、1928)(ニッポンノホン、1928) 演説: 尾崎行雄
- 『君恋し』(ビクター、1929) 作詞: 時雨音羽、作曲・編曲: 佐々紅華、歌: 佐藤千夜子
- 『地震の話』(ビクター、1930) 講演: 今村明恒(理学博士)
- 『丘を越えて』(コロムビア、1931) 作詞: 島田芳文、作曲: 古賀政男、歌: 藤山一郎
- 『大大阪地下鉄小唄』(ビクター、1933) 作詞: 平塚米次郎、作曲: 橋本国彦、歌: 筆香
- 『魔王』(ビクター、1935) 作詞: ゲーテ、作曲: シューベルト、訳詞: 堀内敬三、歌: 四家文子
- 『新しき夜』(コロムビア、1943) 作詞: サトウハチロー、作曲: 服部良一、歌: 李香蘭
- 『桑港のチャイナ街』(ビクター、1950) 作詞: 佐伯孝夫、作曲・編曲: 佐々木俊一、歌: 渡辺はま子
- 『乙女の祈り』(キングレコード、1960) 作詞: 音羽たかし、作曲: 宮川泰、歌: ザ・ピーナッツ



歴史的音源トップページ

